

(様式1)

令和5年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 061	提案機関名 神奈川県 畜産課
要望問題名 水田を活用した飼料作物増産に関する生産技術の開発	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）】 県内における粗飼料生産について、飼料作物栽培の担い手不足、鳥獣被害の影響などを要因として、県内の飼料作物作付面積は年々減少、生産量は低下し続けており、海外からの輸入飼料に依存する状況となっている。さらに、令和3年秋以降続く飼料価格高騰の状況は、飼料価格の高騰だけでなく、飼料の安定供給が脅かされる事態となっており、安定的な飼料確保は健全な畜産経営に最も重要な課題となっている。 水田を活用した飼料生産は、飼料生産基盤の効率的な確保に有効であり、水田における飼料増産は飼料自給率向上に大きく貢献すると考えられる。 これまでに、畜産技術センターでは、畑地における飼料作物の省力化栽培や、昨今の地球温暖化の影響を踏まえた、トウモロコシ二期作栽培法の開発など、安定多収栽培技術の検討を行い、TDN収量が多収となる栽培体系の確立や現場への技術普及を行ってきた。 そこで、畑地での取組と同様に、水田裏作を想定した飼料作物の安定多収栽培技術の確立について御検討いただきたい。	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内    ③4～5年以内    ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ②畜産技術センター    ③水産技術センター    ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名	畜産技術センター	担当部所	企画指導部企画研究課
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 <input checked="" type="checkbox"/> ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合)		
対応の内容等	水田の裏作については、これまで神奈川県においてもイタリアンライグラスが作付けされていたと聞いています。また、えん麦の単播やえん麦とイタリアンライグラスの混播栽培についても、神奈川県においては十分可能と考えられます。それら栽培技術は一定の確立を得ておりますので、現地での技術の普及が期待される所です。		
解決予定年限	①1年以内    ②2～3年以内    ③4～5年以内    ④5～10年以内		
備考	・水田裏作イタリアンライグラスの省力播種法とくに不耕起まき栽培 日草誌 1971 17巻 3号 161-169 ・水田裏作におけるイタリアンライグラスの生産力について 愛媛大学農学部農場報告 2004 巻 26号 17-22 ・水田裏作でのイタリアンライグラスを活用した飼料生産 牧草と園芸 2001 49巻 9号 ・イタリアンライグラスとムギ類の混播栽培について 牧草と園芸 2002 第50巻 第7号 ほか		